

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- (1) 12日(土)、13日(日)の練習は、ヤンマーフィールド長居を使用すること。
ただし、投てき練習は禁止する。
また、投てき競技開始以降は練習区域を制限する。
- (2) 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。
 - ・1～4レーン：中・長距離、競歩種目
 - ・5～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
 - ・8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
 - ・8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する。※パラ種目男子車いす1500mのウォーミングアップを、12時30分～13時00分まで1レーン～2レーンを使用するので、この時間他の種目の競技者は3レーン～9レーンを使用とすること。
※招待小学男女4×100mリレーの練習は、バックストレート裏の直走路を利用する。
- (3) 投てき種目の練習は、招集完了後、競技役員の手指示に従って行うこと。
- (4) 競技場の開門時間は下記のとおりとする。

	5月11日(金)	5月12日(土)	5月13日(日)
ヤンマースタジアム長居	15時30分	9時30分 (練習使用不可)	8時00分
ヤンマーフィールド長居	使用不可	11時00分	9時00分

※5月13日(日)ヤンマースタジアム長居のトラックの練習解放時間は8時～9時40分までとする。

- (5) 競技場の閉門時間は下記のとおりとする。

	5月11日(金)	5月12日(土)	5月13日(日)
ヤンマースタジアム長居	20時30分	18時50分	16時30分
ヤンマーフィールド長居	使用不可	18時50分	16時00分

3. 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド下室内練習場北側(100mスタート付近寄り)に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	トラック	フィールド
開始時刻	30分前	50分前
完了時刻	20分前	40分前

※但し、棒高跳びは60分前に完了すること

女：12時20分～12時30分
男：14時00分～14時10分

(3) 招集の手順

- ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード、スパイクの点検を受ける。同時にトラック種目出場者は「腰ナンバーカード」を受け取り、右腰やや後方に付けること。
(5000m以上の種目については、左右に付けること)
 - ② 点呼に代理人は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が競技者係に申し出ること。
 - ③ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものとして処理する。
- ### (4) リレー種目について
- ① リレーオーダー用紙は、招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。
(リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること)
 - ② 点呼は4人全員で受けること。
(男女4×400mリレーは代理人1名のみ点呼を可とする)
 - ③ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用後各チームの前走者が必ず取り除くこと。
 - ④ 招待小学リレー種目の決勝進出は8チームとする。
- ### (5) 欠場する場合は、欠場届を招集開始前に競技者係に提出すること。なお、欠場届は、プログラム巻末の用紙を使用すること。
- ### (6) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は、競技者係の手指示に従うこと。

4. 競技進行について

(1) 競技について

- ① 投てき競技は、すべてヤンマーフィールド長居で行う。
- ② 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ③ トラック種目、フィールド種目にまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。
- ④ 決勝の組合せ及びレーンは主催者が抽選し、記録掲示板及び招集所に掲示発表する。
- ⑤ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で 100 分の 1 秒単位で同記録があった場合、1000 分の 1 秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
- ⑥ 5000mW の競技者は、32 分を過ぎて新たな周回に入ることにはできない。
- ⑦ スパイクのピンは、9mm 以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm 以下とする。本数は 11 本以内とする。
- ⑧ ナンバーカードは配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
(招待小学生リレーは、主催者が 1 枚配布するナンバーカードを胸部につけること)
- ⑨ トラック種目出場者は、腰ナンバーカードを競技者係から受け取り、レース終了後すぐに腰ナンバーカード回収係に返却すること。

(2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

跳躍競技

走高跳	男	決	練習 1m80	1m85-90-95-2m00-05	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m50	1m55-60-65-70-75	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 3m90	4m00-10-20-30	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 2m80	2m90-3m00-10-20	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定のバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

5. 競技用具について

- ① やりは、個人所有の使用を認める。
- ② やりは、競技開始 60 分前までに正面スタンド南側（100m フィニッシュ側）の用器具庫に提出し検査を受けること。

6. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、総括総務員へ申し出るものとする。

7. 表彰について

- ① 各種目第 3 位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに、受賞者席（競技場正面ホール）に集合すること。
- ② 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
- ③ 最優秀選手には毎日新聞社杯を授与する。

8. その他

- (1) 部旗、横断幕などの使用は、各スタンド中段より上部に限り許可する。ただし、競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合がある。
- (2) 部旗・横断幕等については、毎日撤去して持ち帰ること。
- (3) 更衣は更衣室を利用し、貴重品は各自で責任を持って管理すること。
- (4) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (5) スタンドでの応援エリアは、黄色のテープで制限した範囲内とする。ただし、以下の競技種目の応援については、第 2 コーナーから第 4 コーナーまでのバックスタンド側グラウンドでの応援を認める。
その場合の応援者は、第 4 ゲートからグラウンド内に入ること。
また、ハイヒールなどグラウンドを傷つける可能性がある履物は禁ずる。
グラウンド内での応援可の種目：男女 5000m（男子 5000m1 組、J 5000m 除く）・10000m・4×400m リレー
※但し、跳躍競技終了後とする。
※大会 1 日目の応援については、全種目グラウンド内での応援のみとする。
(第 4 ゲートの開門は 16 時 40 分とする)
- (6) スタンド及び競技場内使用後は清掃し、ゴミは「カン・ペットボトル」、「ビン」、「その他ゴミ」に分別して、決められたゴミに投入してください。
- (7) 携帯電話等の情報機器の競技場内への持ち込みは禁止する。（招集所でチェックする）
- (8) 撮影許可希望者は競技者受付（ヤンマースタジアム長居エントランス）で許可を受けて下さい。撮影許可証は 12 日（土）、13 日（日）のみ、1 日 1 枚 100 円にて発行します。